

# テーマセッション『組織構造のデザインと管理会計』 の趣旨・報告・討論の概要

コーディネータ 門田安弘（筑波大学教授）

このテーマセッションでは、日本管理会計学会「組織構造と管理会計」研究部会（研究主査 門田安弘（筑波大学社会工学系）；研究幹事 浜田和樹（西南学院大学商学部））が2000年12月より24名のメンバーによって推進してきた研究活動の成果の一部を発表する。

## 【 テーマセッションの趣旨 】

本テーマセッションでは、組織構造ないし事業構造の再編に役立つ管理会計システムを究明することを研究テーマとしている。

組織構造の再編（事業プロセスの設計）には、次の3つが含まれる。

事業評価に基づき、事業廃止や事業推進、M&A・業務提携による企業結合、SCMやアウトソーシングによる企業間システムの構築、企業内の事業プロセスの革新と改善。

これらの組織再編や再編後の管理に役立つ会計システムとして、今回の報告では、事業価値ないし企業価値の評価のためのEVA、企業グループとしてのサプライチェーンの管理会計、ABC/ABMやバランスト・スコアカードによるBPRについて新しい角度から論ずる。

## 【 テーマセッションの報告 】

（1）平岡秀福（創価大学経営学部助教授）

### EVA<sup>TM</sup>に基づく事業評価と管理会計

報告者の知る範囲では、ここ数年の間に、少なくともわが国のおよそ20社がEVA<sup>TM</sup>（あるいはその類似指標）を事業リストラに活用していることがわかった。そこで、本発表では、従来の残余利益とは一線を画するEVA<sup>TM</sup>ベースの事業評価の独自性を明らかにし、EVA<sup>TM</sup>をいかに事業再編、さらには組織再編へと結びつけていくかについて理論的に考察する。

（2）浜田和樹（西南学院大学商学部教授）

### 企業間管理の重要性と管理会計 SCMを中心として

競争優位の獲得には、企業間システム全体を対象とした管理が効果的である場合も多い。企業間システム全体の管理や情報の共有によって、顧客ニーズに合った製品をタイムリーに効率よく提供できるようになる。本発表では、サプライチェーン全体を複数の企業が担当する場合を採り上げ、その特質や管

理法を理論的考察やデータ分析によって明らかにし、より望ましい管理法を管理会計的立場から明らかにすることを目的としている。

(3) 星 法子 (白鷗大学女子短期大学部助教授)

#### **製造業におけるアウトソーシングの委託先別の連結財務効果**

アウトソーシングの委託先には、関連会社やグループ外のアウトソーシングを専門とする外部の会社がある。関連会社に委託する割合が大きい企業と、外部の独立企業に委託する割合が大きい企業とでは財務業績に違いはないのだろうか。そこで、本発表では、アウトソーシングの委託先別の調達割合が財務業績に及ぼす効果を実証的に分析し、その理由を考察することを目的とする。

(4) 李 健泳 (大阪産業大学経営学部教授)

#### **ビジネス・プロセス・リデザインと管理会計**

「情報化時代」といわれる今日の企業環境では、スピード経営が重視されている。それは、スピードがコスト低減の重要な手段であると同時に、顧客満足度を高める主要要因だからである。本発表では、スピードを高める一つの手段としての企業内部の組織横断的な業務プロセスのあり方を中心に考察する。具体的には、業務プロセスにおける戦略的な側面と改善の側面の理論的考察を行い、管理会計の役割を明らかにする。

### **【 テーマセッションの討論 】**

(1) 園田智昭 (慶応義塾大学商学部助教授)

上記の(1)「EVAによる事業評価」と(3)「サプライチェーンマネジメントの管理会計」に対してコメントを提供する。

(2) 鈴木研一 (明治大学経営学部助教授)

上記の(3)「アウトソーシングの委託先別効果」と(4)「ビジネス・プロセス・リエンジニアリング」に対してコメントを提供する。